

ダイオキシン類汚染土壌浄化技術実証調査応募様式記入事項

| |
|--|
| 1 . 会社名 |
| 2 . 浄化技術の名称 |
| 3 . ダイオキシン類又は類似物質の浄化試験の国内外の実績 (対象物、処理量等) |
| 4 . 処理フロー概要 (内容、原理を記述、A 4 サイズの説明図添付) |
| 5 . 処理能力 (m ³ /日、t/日) |
| 6 . 処理可能なダイオキシン類濃度 (毒性等量(pg-TEQ/g)) |
| 7 . 処理性能 (処理前後の濃度、処理効率%、副生成物を含めた物質フロー) |
| 8 . 処理に当たっての土壌の条件 (水分含量、礫、植物根茎の混入の是非等) |
| 9 . 処理技術のライセンスの状況 |
| 10 . 実証試験開始可能時期 |
| 11 . 実証試験中の周辺環境対策 (爆発、漏洩、飛散防止等) |
| 12 . 実証試験中の環境保全対策 (処理方法、排出物中のダイオキシン類濃度) 排ガス 排水 残渣 騒音・振動等 (悪臭含む) |
| 13 . ユーティリティ 電力 (定常時消費電力 kw) 水 (m ³) 燃料 (種類、量) 薬品 (種類、量) 装置サイズ (高さ m、幅 m、奥行き m) 装置の設置の簡便性、可搬性 その他 |
| 14 . 装置稼働 人員 (運転要員) 資格 (運転要員に必要な資格) 留意事項 (温度、圧力等) |
| 15 . 実証試験に要する経費 総費用 <内訳> ・ 装置の減価償却費 ・ ランニングコスト ・ 環境への二次影響防止措置に要する経費 ・ その他 |
| 16 . 担当窓口 (連絡先) 住所、担当部局、電話、FAX番号、電子メールアドレス 職名、氏名 |

(注) 1 . 実証技術が複数ある場合は、それぞれ別葉で作成して下さい。

2 . 例示の単位が異なる場合は、単位を明記して下さい。

3 . 必要に応じ、関連資料を添付して下さい。